

# 女木島

めじま



## Information

### 【基本情報】

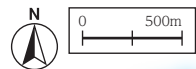
- ▶面積/2.62km<sup>2</sup>(平成27年10月1日現在)
- ▶本土からの距離/高松港から5.5km
- ▶人口/136人(平成27年10月1日現在)
- ▶主な産業/とうもろこし、にんじん、みかん、落花生

### 【島内の移動】

- 徒歩、レンタサイクル、洞窟行きバス
- 【問い合わせ先】高松市 地域振興課 ☎087-839-2278

## 高松港からフェリーで20分。桃太郎伝説の鬼ヶ島。

島内に謎の洞窟が発見されたことから、「鬼ヶ島」とよばれている女木島。鬼が棲んでいたと伝えられる大洞窟や、鬼の灯台、鬼の資料館など、いろいろな場所で鬼に会うことができます。夏は海水浴で賑わいます。



### 鬼ヶ島大洞窟

鷲ヶ峰の中腹にある大洞窟。夏でもひんやり薄暗い洞窟の中は、まるで迷路のようで、「鬼大将の部屋」「鬼の宴の間」などがある。



### おこの館

港にある待合所。洞窟行きバスのチケットやレンタサイクル、お土産はここで。食堂では「鬼うどん」が食べられる。鬼の資料館もあり。館内には島オリジナルの鬼グッズも。



指さきでつまめるかわいいサイズ

### 世界最小のメロン

女木島にしか自生していない原産種メロン。鬼ヶ島大洞窟の下、「円山古墳」近くの畑などで、10月頃見ることができる。苦みがあり食用には向いていない。

女木島灯台

鬼ヶ島スカイラインコース

西浦漁港

藤井商店

鷲ヶ峰展望台

鬼ヶ島大洞窟

円山古墳

女木島八幡神社

瀬戸内ステイ

女木島ビーチアパート

鬼ヶ島恋人岬

鬼ヶ島海水浴場

鬼ヶ島おこの館

鬼ヶ島灯台

オアテ

日蓮上人銅像

住吉神社

JA

民宿 龍宮



### オアテ

港付近の集落をぐるりと囲むように立つ石垣は、冬の強風から家を守るために築かれたもの。高さ4mを超えるものもある。

## 宿泊

瀬戸内ステイ 女木島ビーチアパート ③

☎高松市女木町453-1 ☎087-821-1810 ⑨9:00~19:00

民宿 龍宮 ④

☎高松市女木町453 ☎087-873-0205 ※要予約

その他、海の家数軒

## 食事

鬼ヶ島(きしゅん) ①

☎高松市女木町453 ☎087-873-0880 ⑨11:30~14:00 水曜日、海開き期間中は海の家として営業 ※要予約 ※夜は応相談

鬼ヶ島 おこの館 ②

☎高松市女木町15-22 ☎087-873-0728 ⑨8:20~17:20(食堂は10:00~14:20) 無休(食堂のみ月曜日・火曜日)

# 大島

おおしま



## Information

### 【基本情報】

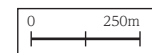
- ▶面積/0.62km<sup>2</sup>(平成27年10月1日現在)
- ▶本土からの距離/高松から8km
- ▶人口/75人(平成27年10月1日現在)
- ▶主な産業/—

### 【問い合わせ先】

- 高松市 地域振興課 ☎087-839-2278
- 大島青松園 福祉室 ☎087-871-3131

## 国立療養所大島青松園のある静かで美しい島。

高松港の北東約8kmに浮かぶ小さな島。もともとは2つの島だったものが砂洲でつながり、ひとつの島になりました。源平合戦の「屋島の戦い」で敗れた平家方の勇者を葬ったところに植えたと伝えられる「墓標の松」に覆われた松林が残っています。大島は島のほとんどがハンセン病療養施設「国立療養所大島青松園」です。ハンセン病の治療を終え、回復した皆さんが暮らしています。かつてハンセン病は誤った知識から不治の病いとされ、ハンセン病と診断された人たちは「らい予防法」という、これも誤った法律によって故郷や家族から引き離され、隔離されました。「らい予防法」が廃止され、人々が自由に行き来できるようになったのは1996年のこと。わずか20年前のことです。全国に13ある国立療養所の中で、唯一の離島である大島。現在53人の方が暮らし、その平均年齢は80歳を超えています。



### 風の舞

1992年(平成4年)に約1,000人のボランティアの協力で作られたモニュメント。ここに眠る魂が風に乗って、自由に解き放たれるようにという願いが込められている。



### 墓標の松

船を降りて島に上陸するとまもなく、美しい松林が見えてくる。源平合戦の「屋島の戦い」で敗れた平家の武将の亡骸や遺品を埋葬した際、墓標として植えられたといわれている。



### 納骨堂



❌立ち入り禁止  
生活区域のため立ち入り不可

※島全体が国の療養所であり、入所者の生活区域であるため、来島者が見学できる場所も限られています。詳しくは「大島青松園」ウェブサイトをご確認ください。  
<http://www.nhds.go.jp/~osima/>

## 食事

### カフェ・シヨル ①

名古屋造形大学の「やさしい美術プロジェクト」が2013年まで運営。その後、瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」が引き継いで運営している。大島で採れた野菜や果物を使ったお菓子やドリンクを提供。オープン日については、こえび隊サイトで確認を。



Photo: Kimito Takahashi

☎高松市庵治町6034-1 ⑨瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター「こえび隊」のウェブサイト(<http://www.koebi.jp/blog/oshima/>)をご確認下さい。